

避難所対策

コロナ禍の対策 無理があるのでは

収容可能人数 佐賀地域は不足



あさの しゅういち 議員
浅野 修一

とも予想される。

問 佐賀地域の収容人数は、何人くらい不足か。

答 村越情報防災課長 佐賀地域での不足分は、広さで約1千平米、人数で341人分が、計算上不足している。

問 町は、コロナ禍の避難所においても、パーティション等設置による感染対策が適当としているが、無理があるのではないか。

問 空き家、倉庫等を避難所に、区長会を通し所有者に提案できないか。また、空き家を提供出来る地区の把握できているか。

答 村越情報防災課長 避難生活が長引けば、重要との認識はあるが、現状では自衛隊の支援による設置に頼らざるを得ない状況。今後は、ベッドや風呂等の必要性も優先順位を付けて、購入についての検討をしていく。

答 村越情報防災課長 空き家等を利用する避難所確保については、仕組みが構築できれば選択肢の一つとして、区長さんをはじめ、あらゆる手段を使い所有者等への呼び掛けを行いたい。空き家自体の調査は、情報防災課では実施しておらず把握できていない。

問 大災害時の避難所における風呂の重要性や対策をどのように考え、どう対応するのか。

答 村越情報防災課長 避難生活が長引けば、重要との認識はあるが、現状では自衛隊の支援による設置に頼らざるを得ない状況。今後は、ベッドや風呂等の必要性も優先順位を付けて、購入についての検討をしていく。

答 村越情報防災課長 南海トラフ地震応急期機能配置計画において、避難所の収容人数は、町全体では充足だが、佐賀地域では不足している。指摘のとおり感染拡大防止のため間隔を広く取ると、さらに不足するこ



パーティション設置の一例



上空より松原大橋、弘野を望む
(赤枠内は弘野避難所開設可能箇所、ドローン空撮)

問 鞭地区の弘野には県の広い土地があり、避難所の設置が有効で、可能だ。高規格道路工事から出る残土を利用し、大橋から弘野に上がる園路を整備すれば、大方球場やキャンプ場等の利用者の避難道にもなり安全確保につながる。園路を整備するよう、県に対し要望書の提出はできないか。

答 門田産業推進室長 土佐西南大規模公園建設促進同盟会における要望活動の中で、現在、今年度の要望書を提出する準備をしている。要望の園路の整備については、引き続き要望するよう作業を進めている。

答 松本町長 川上、山の上から川下いわゆる木材製造業者そして建築さんまでが一体の流れとなるような産業の仕組みを、住民の皆さんと一緒に検討していきたい。

問 山の再生について、来年度の予算措置は、何を重視し、どこへ、どのように考えているのか。
答 今西海洋森林課長 来年度の予算要求は、現在、事前の協議が終了していない。森林管理システムを利用した町内森林整備全体の取り組みを進めていく。

山の再生

来年度の予算 何を重視 産業の仕組み 住民と一緒に